

ビクターJVCの歴史

2001(平成13)年
寺田社長

2002(平成14)年 サッカーワールドカップ日本

1994(平成6)年
守随社長

1994(平成6)年 阪神神戸大震災

1991(平成3)年 ソ連消滅
1990(平成2)年 東西ドイツ統一

1992(平成4)年 Jリーグ始まる

1990(平成2)年
坊上社長

1988(昭和63)年 貿易本部→国際本部

1986(昭和61)年
垣木社長

1980(昭和58)年
サッカーワールドカップスポンサー契約締結、36億円(4年間)
VHS世界戦略に活用 欧米アジアでの効果抜群

1976年9月発売のVHSビデオは世界的に高い評価を受け年間売上げが1000億円台であった日本ビクターの売上げは年平均40%の驚異的な成長を遂げ、わずか6年で売上高6000億円台に到達。利益は4年間で10倍に拡大した。

1979(昭和54)年
宍道社長

1978(昭和53)年9月 ビデオオーディオ用高性能ディスクVHD/AHD方式発表
1978(昭和53)年 成田空港オープン

ビデオ

1977(昭和52)年 ビクター・松下・日立・三菱・赤井6社合同で欧州方式統一VHS企画を共同発表

1976(昭和51)年 EXPO200 海外売上倍増計画スタート
海外ブランドの変更 NIVICO→JVC

1976(昭和51)年9月 小型家庭用VHSビデオカセット

海外販売強化

1973(昭和48)年
松野社長

1974(昭和49)年 BIGBOXスタート
1970(昭和45)年 4チャンネルレコードCD4発表

1970(昭和45)年 消費者運動
カラーテレビ不買運動

1968(昭和43)年メキシコオリンピックの宇宙中継
カラーテレビ需要本格化 純白カラー

ステレオ
70年代オーディオブーム

テレビ

1970(昭和45)年
北野社長

1966(昭和41)年 岩井カラーテレビ工場完成

1962(昭和37)年
百瀬社長

1966(昭和41)年STL661シリーズ300万台突破
1965(昭和40)年世界で初めて生演奏からレコード演奏へのすりかえ成功
1963(昭和38)年10月大和ステレオ工場完成
1962(昭和37)年「いつでも夢を」レコード大賞
1960(昭和35)年ステレオブーム
1954(昭和29)年EPレコード国産1号
1950(昭和25)年RCAビクターLPレコード発売
1947(昭和22)年12月 東京スタジオ新築

1964(昭和39)年 アジアで初めての
東京オリンピック
新幹線・高速道路

1960(昭和35)年株式上場

1969年(昭和34)年皇太子ご成婚
白黒テレビ爆発的ブーム

レコード音楽

1953(昭和28)年 NHKテレビ放送開始

1953(昭和28)年
野村吉三郎社長

1954(昭和29)年EPレコード国産1号
1950(昭和25)年RCAビクターLPレコード発売
1947(昭和22)年12月 東京スタジオ新築

1945(昭和20)年12月29日
社名を日本ビクター株式会社に変更

1940(昭和15)年 テレビジョン発売 NHK・陸軍に納入
1935(昭和10)年 大衆向けビデオロー発売
1933(昭和8)年 東京音頭 大ヒット

1930(昭和5)年12月6日 東洋一の蓄音機レコード工場
横浜工場完成

1928(昭和3)年2月1日 第一回洋楽レコード発表
RCAビクターキングマシン社を合併

1928(昭和3)年4月1日
第一回邦楽レコード発表

1927(昭和2)年9月13日
日本ビクター蓄音機株式会社創立
資本金200万円 犬のマーク ビクター

1927(昭和2)年
高柳健次郎(当時、浜松高工)
高柳式テレビジョン研究結果発表